

・・・お願い・・・

本ガイドラインは、JSF基準を基に競技会を運営するうえで、日本スケート連盟スピード部委員会と主管連盟が緊密な連携を図り、各競技会・各施設ごとに環境や条件の違いがあることから、あくまでも参考にしていただき、競技会の実施にあたっては、競技会開催地の都道府県関係部局の指示を仰ぎながら、その施設や地域の実情に合わせた「感染拡大防止対策」に取り組むようお願いいたします。  
なお、下記に示す内容は感染状況によって変更する場合もあるのでご注意ください。

№	実施項目	JSF基準	スピードスケート競技会	備考その他・準備品
1	参加募集時の対応	<p>感染拡大防止のために協力を求めること。</p> <p>遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。</p> <p>① 以下事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。 ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合） イ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合 ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合</p> <p>② マスクを持参すること</p> <p>③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること</p> <p>④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保</p> <p>⑤ 競技会開催中に大きな声で会話、応援をしないこと</p> <p>⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う</p> <p>⑦ 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する</p>	<p>大会要項の「その他」の項に入れてください。</p> <p>□ 感染拡大防止のために協力を求めること。</p> <p>遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。</p> <p>① 以下事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。 ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合） イ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合 ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合</p> <p>② マスクを持参すること</p> <p>③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。</p> <p>④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。</p> <p>⑤ 競技会開催中に大きな声で会話、応援をしないこと。</p> <p>⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。</p> <p>⑦ 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。</p>	<p>□ 競技会に参加するすべての方々に、マスク・タオル等持参するよう周知する</p>
2	当日の参加受付時の留意事項	<p>主催者は、当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に競技会を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行うことが必要。</p> <p>① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること</p> <p>② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないよう呼びかけること</p> <p>③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること</p> <p>④ 参加者が距離を置いて（2m：最低1m）並べるように目の設置等を行うこと</p> <p>⑤ 受付を行う役員には、マスクを着用させる</p> <p>⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を選択できるようにする</p> <p>⑦ 当日の受付のほか、前日の受付を行うなど当日の混雑を極力避けること</p>	<p>□ 会場（建物）に入るときには、できる限り検温、消毒を行う。</p> <p>□ 受付ではプログラム・参加賞等の配布、健康調査票の受け取りはフェイスシールド、マスク、ビニールカーテン等を使用する。</p> <p>□ 関係者の会場の出入り口は、各施設ごとに違いはあるがなるべく2か所にする。（密を避けるため）</p>	<p>□ 手指消毒剤</p> <p>□ マスク</p> <p>□ 体温計</p> <p>□ アクリル板</p> <p>□ 透明ビニールカーテン</p> <p>□ フェイスシールド</p> <p>□ ビニール手袋</p>
3	参加者への対応 【別添に示すように参加する選手は健康調査票を提出すること】 健康調査票の提出	<p>体調の確認</p> <p>主催者は、当日に、参加者から以下の情報を、主催者が保存できる形で提出を求めること。</p> <p>① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報取扱いに十分注意</p> <p>② 当日の体温</p> <p>③ 競技会前2週間における以下の事項の有無 ア 平熱を超える発熱 イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状 ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難） エ 嗅覚や味覚の異常 オ 体が重く感じる、疲れやすい等 カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無 キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合</p>	<p>【選手に対して】</p> <p>□ JSF事務局で提案するスマートフォンアプリを使用する。</p> <p>□ スマートフォンアプリも使用できるが、できない環境の方もいるので、紙ベースのもの（健康調査票）も使用する。</p> <p>□ 検温の際に、37.5度を基準として判断する。 （当日の体温の測定忘れの場合は大会本部で計画）</p> <p>□ ことある毎に手指消毒と手洗い・うがいを励行する。</p> <p>□ ウォームアップやダウンは各自で行ない、集団では行わない。</p> <p>□ 指輪では各自でアームバンドを装着し、返却する。</p> <p>□ レース終了後は速やかにリンクから上がる。</p> <p>□ 控え室・更衣室には長居しない。</p> <p>□ ゴミは持ち帰ること。</p> <p>□ レース以外は極力マスクを着用する。</p> <p>【監督・コーチに対して】</p> <p>□ 当日、37.5度を超える発熱の場合は会場へ入場できない。</p> <p>□ コーチングゾーンでは他のコーチを距離を取って待機する。</p> <p>□ マスクを着用する。</p>	<p>□ 健康調査票</p>
4	マスク等の準備	<p>主催者は、参加者がマスクを準備しているか確認すること。</p> <p>なお、運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするものの、参加の受付、着替え、表彰式等の運動・競技を行っていない間、特に会話する際には、マスクの着用を求める。</p> <p>（※）マスクを着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを周知する。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないことについても周知する。</p>	<p>□ 関係者すべてに準備するよう呼びかけていく。</p>	<p>□ マスク</p>
5	競技会参加前後の留意事項	<p>競技会に参加する個人や団体は、競技会前後のミーティングや懇親会等においても3つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する。</p>	<p>□ 会場内に注意喚起をするよう、チラシを貼ったり、放送等で呼びかける。</p>	
6-1	主催者が準備等すべき事項 【手洗い場所】	<p>主催者は、手洗いをこまめに行えるよう、手洗い場所を確保すること。</p> <p>① 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する</p> <p>② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする</p> <p>③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（参加者に自分のタオルを持参させる。乾燥させる設備は使用しない）</p> <p>④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する</p>	<p>□ 施設によってそれぞれ環境が違うので、主管連盟で工夫をしてください。</p>	<p>□ 石鹸（ポンプ式）</p> <p>□ ペーパータオル</p> <p>□ 手指消毒液</p>
6-2	主催者が準備等すべき事項 【更衣室、休憩・待機スペース】	<p>更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが高いと考えられることに留意する</p> <p>主催者は、更衣室や、休憩スペース、待機スペース（招集場所）について以下に配慮して準備する</p> <p>① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける</p> <p>② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する</p> <p>③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒</p> <p>④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する</p>	<p>□ 6-5 「観客の管理」でも述べているが、室内の場合で無観客競技会とした場合に、観客席を休憩・待機スペースにするなど、施設環境にあった工夫を行う。</p> <p>□ 更衣室は、あくまでも着替えのみとする。</p> <p>□ 屋外の場合は、施設ごとに検討する。</p>	
6-3	主催者が準備等すべき事項 【洗面所】	<p>洗面所（トイレ）は、感染リスクが高いと考えられることに留意する</p> <p>主催者は、利用する洗面所（トイレ）について、以下に配慮する</p> <p>① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する</p> <p>② トイレの蓋を閉めてから、汚物を流すよう表示する</p> <p>③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する</p> <p>④ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする</p> <p>⑤ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（参加者に自分のタオルを持参させる）</p>	<p>□ 施設によってそれぞれ環境が違うので、主管連盟に任せる。</p>	<p>□ 石鹸（ポンプ式）</p> <p>□ ペーパータオル</p> <p>□ 手指消毒液</p>

No.	実施項目	JSF基準	スピードスケート競技会	備考その他・準備品
6-4	主催者が準備等すべき事項 【飲食物の提供時】	主催者は、栄養補助等として飲食物を参加者に提供する際は、以下に配慮する ①参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声をかける ②スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供する（ただし、ドレーピング検査の対象となる競技者が参加する競技会では、未開封の飲料を提供しなければならない） ③果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分けける方式を選び、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供する ④飲食物を取り扱う役員にはマスクを着用させること	<input type="checkbox"/> 各自弁当を取りに行き、配膳する場合はビニール手袋を着用し、食事後各自が空容器を戻す。 <input type="checkbox"/> 回収はビニール手袋を着用する。 <input type="checkbox"/> 主催者側は、ペットボトルのみ用意。委託販売などはその店ごとに協力を願う。	
6-5	主催者が準備等すべき事項 【観客の管理】	観客を参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとる  また、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をしている場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する (掲示板などで周知したり、放送等で促す)	<input type="checkbox"/> 観客席に距離を取るための×マーク表示などをする。 <input type="checkbox"/> 屋内の箇所は換気扇を使用するなど換気に努める。 <input type="checkbox"/> 無観客とした場合は、態度決定（大会開催日4週間前）にあわせて周知する。 <input type="checkbox"/> 観客席は観客及び選手の控え場所として使用し、間隔を十分取る工夫をする。 <input type="checkbox"/> 当日、37.5度を超える発熱の場合は会場へ入場できない。 <input type="checkbox"/> 大きな声を出しての応援は控える。 <input type="checkbox"/> 物品販売は販売店の指示に従う。 <input type="checkbox"/> マスクの着用をお願いする。 <input type="checkbox"/> 観客には感染拡大防止に係る事項または、施設利用での注意事項をチラシや放送等で周知徹底を図る。	
6-6	主催者が準備等すべき事項 【会場】	競技会を室内で実施する場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう、換気を行う具体的には、換気設備を適切に運転することや、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う（※）スポーツ庁作成の「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」等を参考に、施設管理者とも相談しつつ取り組んでください	<input type="checkbox"/> 室内観客席や控え室及び更衣室は換気扇を使用するなど定期的な換気を行う。（施設管理者と連携） <input type="checkbox"/> 施設環境がそれぞれ違いがあるので、施設側とよく協議をして、実施すること。	
6-7	主催者が準備等すべき事項 【ごみの管理】	ゴミの廃棄臭水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する	<input type="checkbox"/> ごみの持ち帰りを呼びかける <input type="checkbox"/> ごみ箱は、設置する数を減らす方向で考えること（施設側と協議）	<input type="checkbox"/> ごみ箱、ごみ袋 <input type="checkbox"/> ビニール手袋
6-8	主催者が準備等すべき事項 【その他の留意事項】	主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、当日に参加者より提出を求めた情報（健康調査表等）について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくことが必要 また、終了後に、参加者（関係者）から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておく 加えて、現在、導入が検討されているスマートフォンを活用した接触確認アプリは接触率の低減や感染の拡大防止に寄与することを踏まえ、活用を検討してください。	<input type="checkbox"/> 万が一に備え、地元自治体スポーツ部局や衛生部局と事前協議しておくこと	関係部局の連絡先を確認しておくこと
7	チームリーダーズミーティング 【監督会議】		<input type="checkbox"/> 受付で健康調査票を受け取る業務担当者はフェイスシールド、マスク、ビニールカーテン等を使用する。健康調査票の提出はオンラインでの受付も考える。 <input type="checkbox"/> 監督会場は座席間隔を確保する。または、オンラインでの実施も今後検討する。	
8	控え室（更衣室、休憩室）		<input type="checkbox"/> 控え室（更衣室、休憩室）が3密になる 公式練習やウォームアップの時間帯は控え室が混雑する <input type="checkbox"/> 更衣が済んだら控え室には長居をしない <input type="checkbox"/> レースが終了後、観覧席などで距離を保って待機するか、帰途につく。 <input type="checkbox"/> 更衣室、休憩室等は換気扇などを使用し、定期的に換気を行う。	
9	競技役員 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> 当日朝、検温すること。 <input type="checkbox"/> 当日、37.5度を超える発熱の場合は役員業務はできない。 <input type="checkbox"/> 競技役員本部に非接触型体温計や脇下体温計を用意する。 <input type="checkbox"/> 会場ではマスク着用、手洗い・うがいを励行する。 <input type="checkbox"/> 会場では大声による指示は避け、必要があればハンドマイクを使用。 <input type="checkbox"/> 役員打ち合わせは座席距離を確保する。 <input type="checkbox"/> アンスタントスターターコールは名前を確認し、アームバンドは選手が各自持って行き、各自が戻す。後着依頼があった場合はビニール手袋を着用する。 <input type="checkbox"/> マニュアルタイムキーパーは距離を確保する工夫を行う。 <input type="checkbox"/> パジャテストはフェイスシールド、マスク、ビニール手袋等を使用する。 <input type="checkbox"/> 競技用具は適宜消毒する。 ※ 密にならないようにそれぞれの担当者が選手に呼びかける。	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> フェイスシールド <input type="checkbox"/> ハンドマイク（拡声器） <input type="checkbox"/> ビニール手袋 <input type="checkbox"/> 非接触型体温計
10	滑走時 W-up時 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> 滑走時以外はマスク着用 <input type="checkbox"/> 複数名での陸上W-up、氷上トレーニングの禁止（エルゴは設置時に距離確保）	
11	コーチング関係 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> ラップボードのみの提示で、声を出してのコーチングはしない。 <input type="checkbox"/> コーチの待機場所も座席間隔を保持する。	
12	ヒートボックスの運用 【ST競技会のみ】			<input type="checkbox"/> 透明ビニールカーテン
13	スケート脱着・リンクへの入退場 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> スケート靴脱着用椅子などを距離をとって配置する。 <input type="checkbox"/> 隣の競技者と距離を取って座る。	
14	閉会式・閉会式・表彰式 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> 簡素化できるものはする。 <input type="checkbox"/> 表彰式のメダル授与もプレゼンターはビニール手袋を着用し、賞状・メダルを手渡しする。	
15	報道 【実行委員会指示】		<input type="checkbox"/> 囲み取材は 競技者と記者の間にビニールカーテンなどを設置するか2mの距離を保つ。 <input type="checkbox"/> 報道用写真撮影は1.5mの距離を保つ	<input type="checkbox"/> 透明ビニールカーテン
16	公式練習 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> 公式練習のタイムスケジュールや実施方法を主催管理で検討する <input type="checkbox"/> 人数・時間制限の設定	